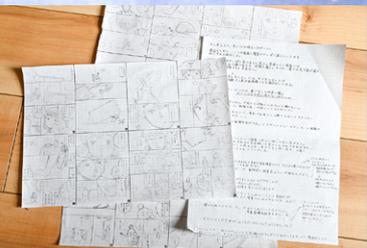


栗原さんの
漫画ができるまで

ネーム(絵コンテ)を描く



ノートなどに大ざっぱにコマを割り、大きさや配置を決め、手書きで絵を描く。人物やセリフも入れる。仕上がったら出版社に提出し、修正をもらう。

ペン入れ(ベタ・トーン)



ネームをパソコンに取り込み、人物の髪や影を塗るベタ塗りや、明るさを調整をするトーンを貼って仕上げる。

入稿(原稿を提出する)



新潮流くらげパンチで連載中の「あなたも私も動物だから〜不倫の森〜」

©宮川サトシ 栗原陽平/新潮社

明るさや色の調整が終わると出版社に原稿を提出する。



栗原陽平さんが
描いた作品はこちら

広報筑西 2025. 4

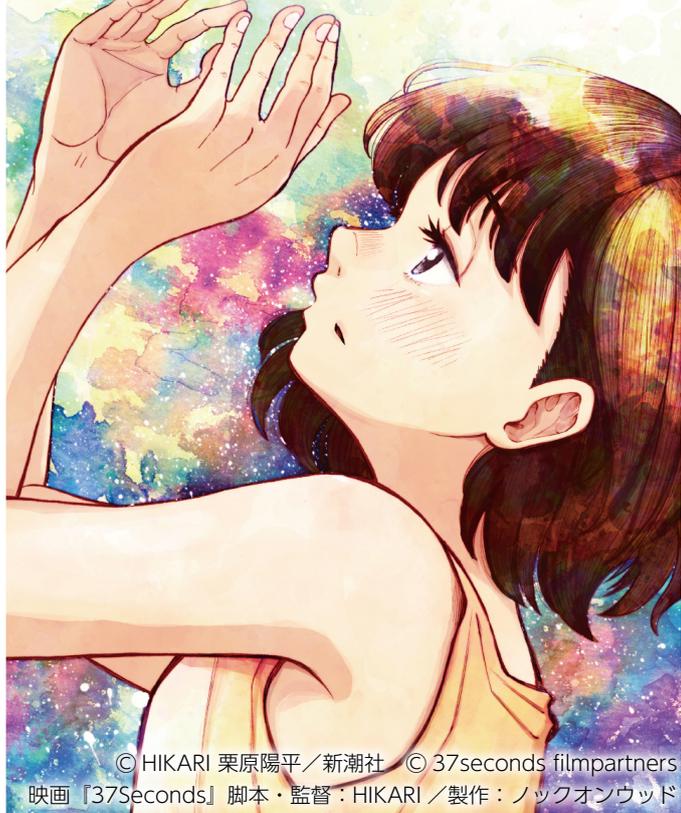
人生一回きり。なんでも挑戦
ベルリン国際映画祭など数々の賞を受
賞した『37セカンズ』の漫画化を担当。
プレッシャーに負けず、前に進む栗原
さんの漫画家人生を紹介します。

37Seconds

出生時に37秒間呼吸ができなかったために、手足が自由に動かない身体になってしまった主人公ユマの女性の自己発見と成長を描いた人間ドラマ。

「下積み時代は苦勞しました。専門学校で腕を磨きながら、出版社に自分の作品を売り込む日々でした」と当時を振り返ります。その努力の甲斐あって、

出身も育ちも違う多種多様な人との出会いに衝撃を受けた栗原さん。「二度きりの人生。まずは挑戦しよう」と、大学生の漫画家になることを決心します。「下積み時代は苦勞しました。専門学校で腕を磨きながら、出版社に自分の作品を売り込む日々でした」と当時を振り返ります。その努力の甲斐あって、



© HIKARI 栗原陽平/新潮社 © 37seconds filmpartners
映画『37Seconds』脚本・監督：HIKARI/製作：ノックオンウッド



ペン一本で絵を描き 夢を描く

(筑西市出身) 漫画家 栗原陽平 (40歳) さん

夢を現実にするために

人物は太く柔らかい曲線で、風景は細く繊細に描くのは、市内出身の漫画家、栗原陽平さん。幼少期から絵を描くのが好きで、小学生の頃には漫画家の夢を抱いていました。漫画家への道に踏み切れないまま大学に進学し、自分を見つめ直すために一人で行方不明を回ったそうです。

小さい頃からの夢 漫画家へ

栗原陽平が描く世界観

日本で最も歴史と実績のある青年漫画の登竜門『ちびてつや賞』で佳作の受賞や、情報誌で月一回の連載を数ページを手がけました。これらの実績が認められ、単行本が発行される初めての連載『37セカンズ』の漫画を担当しました。

